

8J10NICT

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)創立10周年
鹿島支所開設50周年・関西支所(KARC)開設25周年
記念アマチュア無線局
～オリンピック史上初のテレビ衛星中継成功50周年～

2014年3月8日 初版

2014年6月28日改訂

無線通信研究アニバーサリー
アマチュア無線記念局リレー
実行委員会

無線通信研究アニバーサリー(周年)

我が国初の無線通信
研究専門拠点
(アメリカに近い場所)

1896年(明治29年) 逓信省電気試験所が無線電信の研究を開始

1912年(明治45年) TYK式無線電話機を開発、現アンリツが実用化

1915年(大正4年) 逓信省電気試験所 平磯出張所(茨城県)を開設

1916年 丹羽保次郎 就職
(後の東京電機大学初代学長)

1940年(昭和15年) 標準電波JJY開局

産業技術
総合研究所 ← 分離 →
NTT研究所

1952年(昭和27年) 郵政省電波研究所(RRL)創立

東京オリンピック
テレビ衛星中継

1964年(昭和39年)5月 鹿島支所(茨城県)開設

1988年(昭和63年) 郵政省通信総合研究所(CRL)に改称

1989年(平成元年)5月 関西支所(KARC)(神戸市)開設

通信・放送機構(TAO)

2001年(平成13年)1月 総務省通信総合研究所に改称

2001年(平成13年)4月 独立行政法人通信総合研究所に改組

統合 →

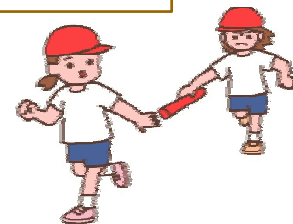
2004年(平成16年)4月 独立行政法人情報通信研究機構(NICT)に改組

2016年
記念局

2015年
記念局

2014年
記念局

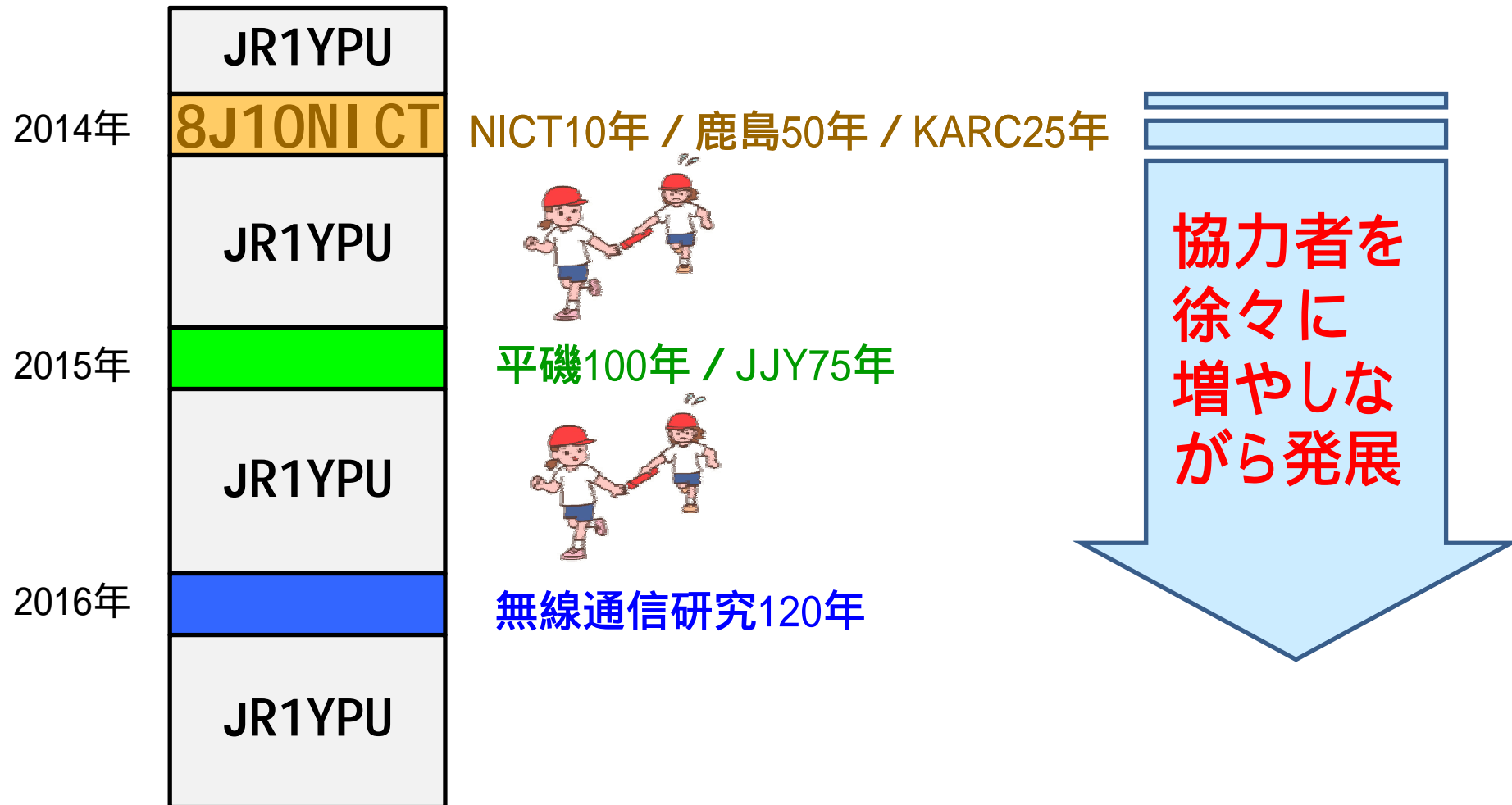
記念局リレー



cみさきのイラスト素材

記念局リレー

一組織の周年行事からオールジャパンの記念行事へ



郵政省電波研究所 鹿島支所 50周年

- 1957年(昭和32年)10月 スプートニク1号打ち上げ(旧ソ連)
- 1961年(昭和36年) 宇宙通信研究室設置
- 1963年(昭和38年) 8月 宇宙通信研究室が鹿島に移転
11月 日米テレビ衛星中継実験

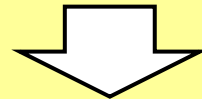
日米協議によるテレビ衛星中継実験の分担配分

担当機関	使用衛星	地球局建設担当社
電波研	リレー衛星(NASA)	NEC
KDD	テルスター衛星(ATT)	三菱

建設遅れ

建設先行

軌道がこの時期に日米中継に不向き



KDD「リレー衛星を使って自分たちに実験させてほしい」

郵政省「電波研の立ち会いによる共同実験の体裁をとればOK」



KDD地球局に電波研職員3名を派遣
1963年11月23日実験(ケネディ暗殺)

郵政省電波研究所 鹿島支所 50周年

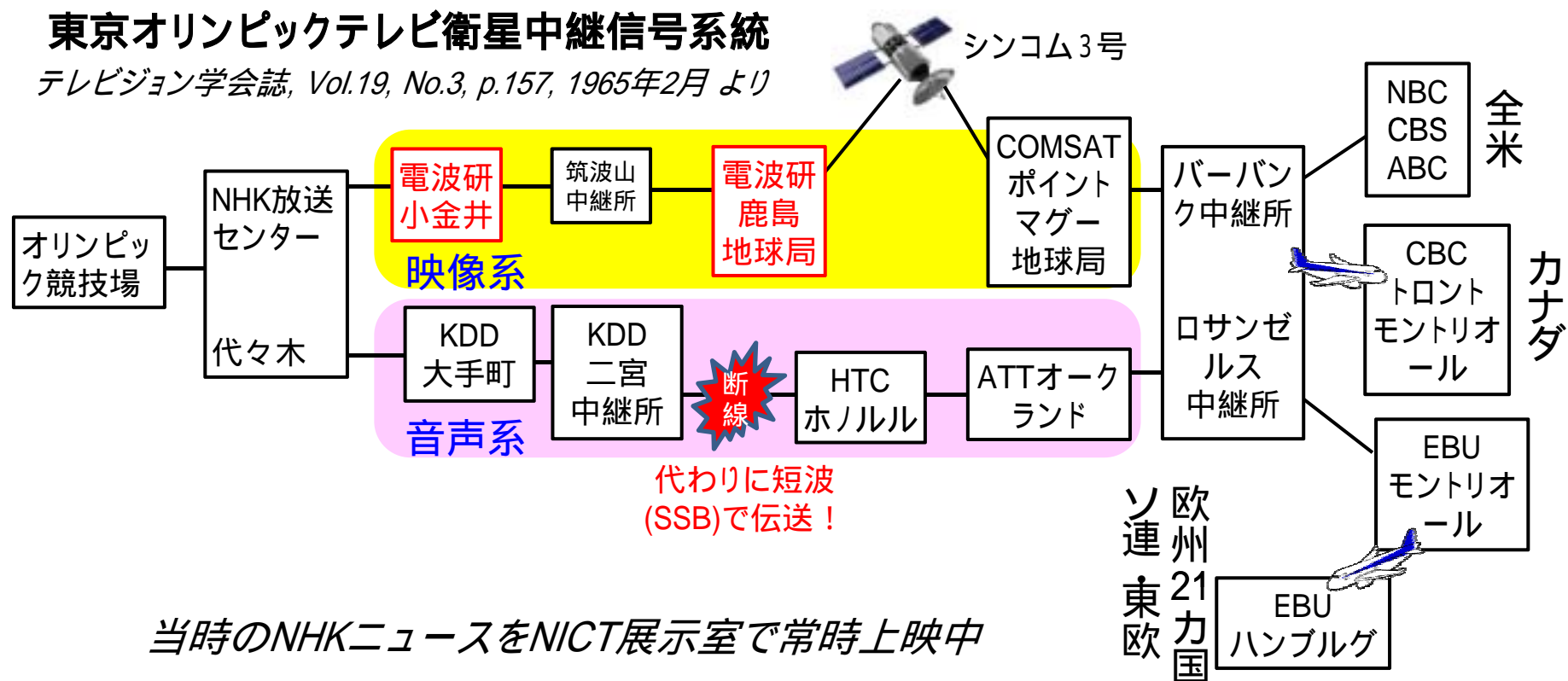
オリンピック史上初のテレビ衛星中継成功50周年

1964年(昭和39年)5月1日 鹿島支所開設

10月10日 東京オリンピック開幕

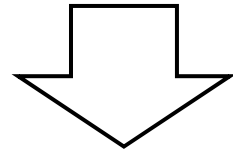
東京オリンピックテレビ衛星中継信号系統

テレビジョン学会誌, Vol.19, No.3, p.157, 1965年2月 より



郵政省通信総合研究所 ^{K A R C} 関西支所 25周年

- 時代は昭和から平成の頃
- バブル経済
- 日米貿易摩擦、半導体摩擦
- 基礎研究タダ乗り批判
- 一省庁一機関地方移転促進



地方に基礎研究拠点を

神戸市西区（近畿電波監理局監視施設の土地に）

Kansai Advanced Research Center（関西先端研究センター）

郵政省通信総合研究所 ^{K A R C} 関西支所 25周年

1989年(平成元年)5月29日開設

研究分野

- 情報 (2000年に京阪奈に移転)
- 物性・ナノテクノロジー
- バイオ

現在は、NICTの「未来ICT研究所」の一部。
KARC(カーク)が拠点名の通称として今も使われている。



実は敷地の5分の4は明石市

東経135度
日本標準時子午線の町

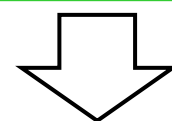
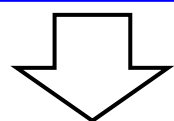


1995.1.17 阪神大震災
5時46分を指して止まった
明石市立天文科学館大時計

独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 10周年

認可法人 通信・放送機構 (TAO)

独立行政法人 通信総合研究所 (CRL)



2004年(平成16年)4月1日 NICT創立

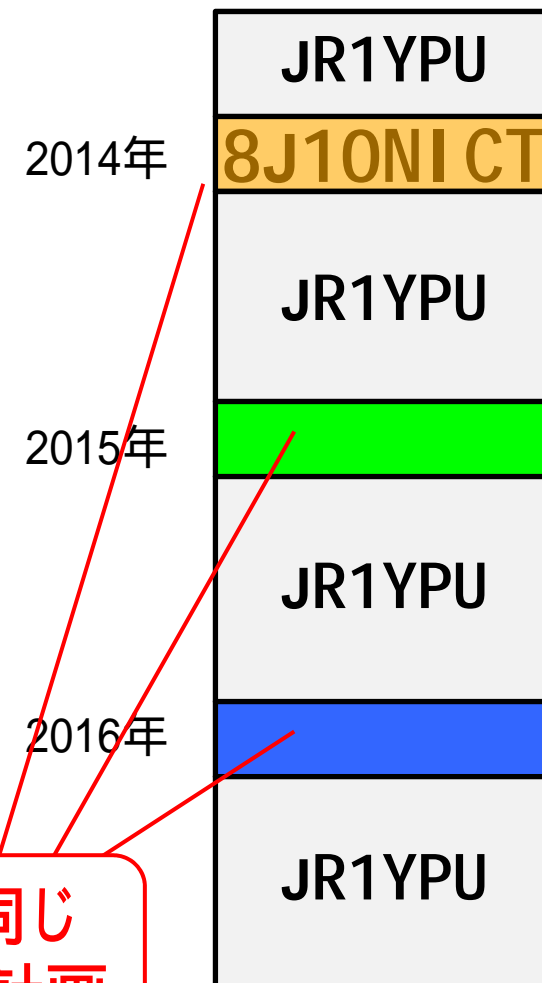


実行委員会

実行委員会の正式名称(免許人の名称):
無線通信研究アニバーサリー
アマチュア無線記念局リレー
実行委員会

略称:

「記念局実行委員会」
「8J10NICT実行委員会」
etc.



2015年、2016年の記念局も同じ
実行委員会により立ち上げる計画

実行委員会体制(コアメンバー)

役割名称	氏名 (呼出符号)	所属	分担詳細
顧問	飯田尚志 (JE1ILP)	元通信総合研究所長・理事長、 JR1YPU初代局長	助言
顧問	村主行康 (JP1ETN)	元逡信省技官、 電波研究所鹿島支所長	助言
代表・庶務・会計・広報	滝澤 修 (JF3CGN)	(独)情報通信研究機構	全般、ロジ
運用関連	石島 博 (JG1NBV)	(独)情報通信研究機構	運用責任者、ログ、 ゲストオペ管理
運用関連	小竹 昇 (JR7KVA)	(独)情報通信研究機構	運用責任者、ログ、 ゲストオペ管理
運用関連	木戸耕太 (JH1ISW)	(独)情報通信研究機構	ログ管理
機材関連・協力団体との調整	金澤紀応 (JP1TVC)	アンリツ(株)	機材・アンテナ

社団局構成員： 10名 (2014年3月15日現在)

無線機ラインナップ

				
YAESU FT-817 HF ~ 430MHzオール モード 4アマ用 (JF3CGN私物)	YAESU FT-897 HF ~ 430MHzオール モード 3アマ用 (JO1ZVH由来)	YAESU FT-707S HF オールモード 4アマ用 (JI1ZWW由来)	KENWOOD TM-D700 144/430MHz FM 4アマ用 (JO1ZVH由来)	YAESU FT-90 144/430MHz FM 4アマ用 (JO1ZRX由来)
				
KENWOOD TH-42 430MHz FM 4アマ用 (JR3ZVA由来)	日本マランツ C510J 144/430MHz FM 4アマ用 (JO1ZRX由来)	ICOM IC-375 430MHz オールモード 4アマ用 (JP1ETN寄贈)	ICOM IC-1201 1200MHz FM 4アマ用 (JP1ETN寄贈)	ICOM IC- 6 50MHz FM 4アマ用 (JR3ZVA由来)
		<p>JO1ZRX : NICTアマチュア無線クラブ JI1ZWW : 通信・放送機構(TAO)君津無線クラブ(廃局) JO1ZVH : CRL非常時通信研究室(廃局) JR3ZVA : CRL非常時通信研究室KARC分室(廃局)</p> <p>印の写真は各社カタログから引用</p>		
YAESU FT-897 HF ~ 430MHzオール モード 3アマ用 (JO1ZVH由来)	ICOM IC-275D 144MHz オールモード 3アマ用 (きく5号通信実験の お下がり)			

2014年6月26日増設

活動の方針

- アマチュア無線家に...
無線通信研究の節目の年をアピールする。
- 一般の人に...
アマチュア無線そのものを宣伝する。
- 若い人を...
活動に巻き込む。
次世代の技術者・研究者を育成

活動計画

アマチュア無線、無線通信研究の歴史、 そしてその活動を支えるNICTを広くアピール

- NICT本部(東京都小金井市)を本拠地として運用
- NICTゆかりの地で移動運用
鹿島センター(茨城県鹿嶋市)、KARC(神戸市)、YRP(横須賀市)、
東北大(仙台市)など
- 展示会や科学イベントへ出展
ハムフェア、青少年のための科学の祭典東京大会in小金井
など
- 出前運用